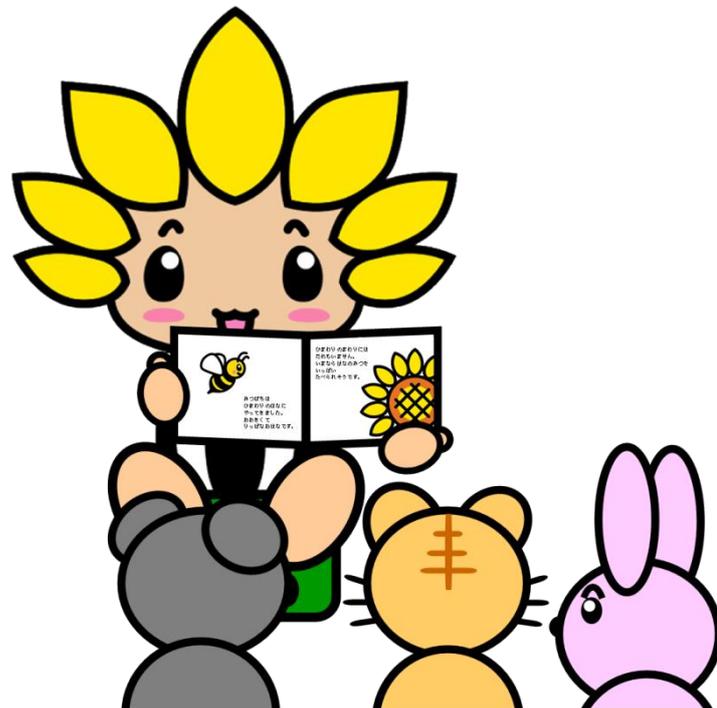


ざまの図書館

令和元年度版
(2019)



座間市立図書館

令和元年度 ぎまの図書館

I. 図書館の目標と組織 p 4

1 図書館の目標と方針

- (1) 座間市図書館協議会の図書館運営に関する答申について（平成 29 年 1 月）
- (2) 平成 27 年の中央教育審議会の答申
- (3) 「子ども読書活動推進計画」の経過
- (4) 「生涯学習プラン」にみる図書館
- (5) 「座間市教育大綱」の策定
- (6) 「座間市立図書館 サービス計画 2011」
- (7) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準（「望ましい基準」）

2 「座間市立図書館 サービス計画 2011」の基本方針

平成 31 年度（令和元年度）の目標

3 図書館の組織

- (1) 図書館の組織
 - ア 教育委員会 事務局機構（令和 2 年 3 月 31 日）
 - イ 図書館機構
 - ウ 図書館職員数
- (2) 図書館の施設
- (3) 移動図書館車「ひまわり号」
 - ア 移動図書館設置の目的
 - イ 就車日
 - ウ 名称
 - エ 車の規格
 - オ 巡回周期
 - カ 移動図書館ポイント一覧
 - キ 出張図書館
- (4) 公民館図書室等の概要
 - ア 公民館図書室 2) 配本所
- (5) 図書館協議会
- (6) 予算
 - ア 図書館関係歳出当初予算の推移

4 市民との協働

- (1) 座間市視聴覚教育研究協議会
- (2) 座間図書館ボランティア友の会
- (3) としょかん情報発信局
- (4) おはなしボランティア

5 学校との協働

- (1) コンピュータによるネットワークシステム
- (2) 学校司書の研修
- (3) 情報共有ツールの開発

6 市役所他部署との協働

II. 図書館事業 p 16

1 子ども向け定例行事

- (1) 子どもおはなし会
- (2) 子ども読書の日企画（「アルミ板でオブジェをつくろう！」）
- (3) 第 10 回夏休み自由研究応援講座
- (4) 調べる学習作品のまとめ方・書き方講座（未実施）
- (5) 森のおはなし会
- (6) ZAMAひまわりおはなし会
- (7) としょかんぬいぐるみのおとまり会 2019
- (8) としょかんクリスマスおはなし会 2019
- (9) ZAMAおひさまおはなし会
- (10) 春休みおたのしみ会
- (11) 親子でふるえるこわいおはなし会



2 その他子ども向け事業

- (1) さま生涯学習宅配便
- (2) ブックスタート事業

3 ティーンズ・サービス (YAサービス)

- (1) 「座間市中学校 POP コンクール 2019」
- (2) ティーンズ・コーナー

4 一般向け講習会・講演会

- (1) おはなしの講習会 (初心者向け)「やってみよう!おはなし会」
- (2) おはなしの講習会 (経験者向け)「図書館おはなし会ボランティア講座」
- (3) 夏休み親子の手作り絵本講習会 (未実施)
- (4) 手作り絵本講習会
 - ①「製本ワークショップ」と②「絵本描き方講座 ～物語を作ってみよう!～」(未実施)
- (5) 図書館教養講座 「本の修理講座」
- (6) 図書館教養講座「身近学を学ぼう」

5 展示

- (1) mini・ミニ展
- (2) 特集コーナー

6 本はいいなあ

7 としょかん情報発信局

- (1) 「大人のための楽しい図書館活用講座 2019」
- (2) 壁面ディスプレイ

8 第10回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール

- (1) 事業計画

9 その他

- (1) ミロの会手づくり絵本展
- (2) 座間市児童文庫
- (3) 大人のためのおはなし会
- (4) <世界一周>おはなしの旅 ストーリーテリングの会

III. 継続事業..... p 36

- (1) おはなし会連絡会の開催
- (2) おはなし会サークル連絡会 (交流会)
- (3) 子どもと本をつなぐ会
- (4) その他資料の整備

IV. 添付資料..... p 36

- (1) 文学講演会の記録 (子ども読書の日の企画を含む)
- (2) 平成 31 年度 (令和元年度) 図書館「おはなし会」の記録
- (3) 月別状況 (平成 31 年度 (令和元年度))
- (4) 文学講演会の記録
- (5) おはなし会年度別参加者数

V. 数字で見る図書館..... p 48

1. 数字で見る図書館

- (1) 活動の状況
 - ア 図書館の利用
 - ①貸出者数
 - ②貸出冊数
 - ③公民館図書室の利用者数
 - ④公民館図書室の貸出冊数

- ⑤移動図書館ポイントの利用者数
- ⑥移動図書館ポイントの貸出冊数
- ⑦サービスポイント別・年齢別利用者数
- ⑧サービスポイント別・年齢別利用冊数
- ⑨その他のサービスの利用状況
- ⑩グラフで見る図書館利用
- イ ベストリーダー
 - ①大人向けの本
 - ②子ども向けの本
- ウ 広域利用
- (2) 図書館の資料
 - 1) 蔵書の推移
 - 2) 購入図書の推移
 - 3) 寄贈図書の推移
 - 4) 除籍図書の推移
 - 5) 公民館三館の蔵書冊数
 - 6) グラフで見る図書館資料の推移
- (3) 図書館本館の新聞・雑誌購入状況
 - 1) 購入雑誌（全館）
 - 2) 新聞・雑誌
 - 3) 購入新聞
 - 4) 永年保存雑誌一覧
 - 5) 永年保存新聞
- (4) 分類別蔵書の内訳
- (5) 別置資料
- 2. いろいろな活動
 - (1) 視聴覚ライブラリー（おはなし会用資料を含む）
 - 1) 16ミリ教材、教具利用状況
 - 2) 視聴覚機材保有状況
 - 3) おはなし会用資料と機材
 - 4) おはなし会用資料と機材の利用状況
 - (2) インターネット
 - 1) パスワード登録者数
 - 2) インターネットコーナーの利用
 - (3) 体験学習・実習生など
 - 1) 図書館施設見学・調べ学習
 - 2) 図書館職場体験実習
 - 3) 図書館教員職場体験実習
 - 4) 実習生受入
- 3. 指標でみる図書館
 - (1) 各指標一覧
 - 1) 利用統計（平成31年3月31日現在）
 - 2) 各種指標



VI. 図書館の沿革 p 74

(1) 図書館の沿革

I . 図書館の目標と組織

1 図書館の目標と方針

(1) 座間市図書館協議会の図書館運営に関する答申について

平成 28 年度、座間市立図書館長からの諮問に対し、図書館協議会において議論を重ね、平成 29 年 1 月館長に対し答申が出されました。

答申の概要は次のとおりです。

1) 図書館には、質の高いサービスが求められています

図書館の利用状況を見ると、座間市の人口一人当たりの貸出点数は 6.71 点と県下 19 市中で 4 位、県央地区（相模原市 3.21、秦野市 3.08、厚木市 4.75、大和市 5.53、伊勢原市 4.37、海老名市 5.55、綾瀬市 4.33）の自治体ではトップであり、同規模自治体との比較でも、職員一人当たりの貸出がトップであるなど、活発な利用が長期に渡り続いています。また、学校図書館との連携や、友の会など図書館外部や市民との連携も積極的に行っています。

こうした結果を踏まえ、図書館協議会では、座間市の図書館の管理運営は、継続的な質の高いサービス体制の維持が市民の要求にかなうものと判断します。

2) 図書館には、長期的なスパンでの継続的な運営が必要です

図書館は運営方針・事業計画・蔵書構成など長期的なスパンで継続的に運営していく必要があります。例えば、郷土資料の収集活用、児童サービスにおける読み聞かせなども技術の習得や経験の積み重ねが必要です。

司書の不在の場合を想定した結果、3 年～5 年周期で職員が定期異動により入れ替わるため、長期的な視野にたった運営が危ぶまれる、職員の入れ替わりが激しく、必要な人員の確保が困難になりがちである、地域や市民との連携が弱くなる、安全安心への配慮や窓口の苦情に対応できない懸念があるなどの問題が予測されます。

以上、図書館の性格、使命などを考えあわせると、市が責任を持って司書を配置し、図書館サービスを実施する事が最良と判断します。

(2) 平成 27 年の中央教育審議会の答申

この答申では、「アクティブ・ラーニングの三つの視点」として次のように書かれています。

1. 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
2. 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
3. 子ども達が見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

このように国の教育方針からみても「調べる学習」がまさにその具現化であること、また公共図書館と学校図書館や教職員との連携といった面でも、さらに子どもたちの教育環境、図書館の教育的役割といった面においても図書館の役割が果たせるものと考えます。

(3) 「子ども読書活動推進計画」の経過

1) 平成 17 年度

- ・ 11 月に「座間市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

2) 平成 18 年度

- ・ 4 月より座間市子ども読書活動推進連絡協議会を立ち上げ、各関連課及び市民ボランティア等からなる実務担当者会議を発足しました。
- ・ 神奈川県より子ども読書活動推進モデル地区の依頼があり、ひばりが丘小学校区が指定されました。ほか、座間市読書活動推進 5 カ年計画の策定。座間市読書活動施設の実態調査、その他、リサイクル本の運動、「おはなしボランティア」による読み聞かせ活動、子ども読書の環境づくり等を行ってきました。

3) 平成 19 年度

- ・座間小、栗原小、相模野小、平成 20 年度は相武台東小、東原小、相模が丘小を子ども読書活動協力校に指定し、活動を展開してきたほか、以下のとおり事業を行いました。
- ・リサイクル本活動・座間市児童文庫の活用、「おはなしボランティア」による読み聞かせ活動、子ども読書の環境づくり、おはなしサークルのネットワーク等。

4) 文部科学省からの表彰

平成 18 年度より 21 年度までの読書活動が認められ、文部科学省より平成 22 年度子ども読書活動優秀実践図書館として表彰されました。

5) 「第二次座間市子ども読書活動推進計画」の策定

平成 18 年度より実施されてきた「座間市子ども読書活動推進計画」は平成 22 年度で終了しました。また、次期を見据えて平成 23 年 8 月に「第二次座間市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

6) 「第三次座間市子ども読書活動推進計画」の策定

第二次計画から 6 年が経過し、他市でも第三次計画の策定が進んでいます。当館としては神奈川県第三次計画策定状況を確認しつつ、準備を進める予定です。

7) ブックスタートについては、平成 27 年 5 月から開始することが出来ました。平成 27 年中に 823 人、平成 28 年度に 926 人、平成 29 年度には 898 人、平成 30 年度には 907 人に対しブック・スタートパックを手渡すことができ、その効果のひとつとして、午前中に行っている小さい子ども向けのおはなし会参加者が増えています。

(4) 「生涯学習プラン」にみる図書館

平成 23 年 3 月に策定された「座間市生涯学習プラン」には、「生涯学習推進の基本方針と基本施策」として 10 項目が挙げられその中に、

「(1) 市民が主役となる生涯学習の推進

- ①多様な学習機会の提供
- ②図書館等を使った「調べる学習」の推進
- ③市民のスポーツに親しみ、健康づくりに取り組めるような機会の充実

とあります。現在取り組んでいる「調べる学習」関係の事業は市の生涯学習プランの中に位置付けられています。

(5) 「座間市教育大綱」の策定

当市では、平成 28 年 1 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成 27 年 4 月 1 日施行）に伴い、同法第一条の三の規定に基づき「座間市教育大綱」を策定しました。

その中で、「書く力の向上を中心とする確かな学力の育成」の部分では、

- 指導方法の工夫や内容の改善に取組み、わかる授業の充実を推進し、わかる授業の充実を推進し同時に主体的学ぶ態度を育て、基礎・基本を定着させます。
- 知識を活用して課題解決するために必要な柔軟性のある思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育てます。
- 特に、論理的正しく明解で説得力のある文章を特に、論理的正しく明解で説得力のある文章を特に、論理的正しく明解で説得力のある文章を書く力の向上に努めます

と書かれており、図書館で行っている活動に連動するものととらえることができます。

(6) 「座間市立図書館サービス計画 2011」

座間市立図書館ではサービスの一層の充実を目指して平成 9 年に「図書館サービス計画」を作成しました。しかし平成 18 年には「これからの図書館像」が出され、さらに平成 21 年 6 月には図書館法が改正されるなど、図書館をとりまく状況は大きく変化しました。このような情

勢、事情に鑑み、改めて市民に役立つ図書館として、地域に根差した新たなる「サービス計画」の必要性を感じました。

今回の「座間市立図書館サービス計画 2011」では、市民の方に作成委員として加わっていただき、平成 23 年 3 月新計画を策定することができました。これまでのサービスに磨きをかけるとともに、時代に即したサービスを提案し、市民と図書館が一緒になって計画を進めていきたいと思ひます。

この計画から 7 年が経過し、また図書館を取り巻く状況もさらに変化しています。総務省が平成 26 年に地方自治体向けに出した「公共施設等総合管理計画の策定要請」に基づき、座間市でも「座間市公共施設再整備計画」が平成 31 年度中には策定される予定です。

このような情勢を踏まえ、平成 30 年度から準備を始め、2 年以内には新しい「座間市立図書館サービス計画」を策定します。

(7) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準（「望ましい基準」）

平成 24 年 12 月 19 日に、新しい「望ましい基準」が発表されました。これは、図書館法の改正や昨今の図書館をめぐる環境の変化を受けてのものです。ここでは、特徴点として、

- ・著作権等の権利の保護に関する規定を追加
- ・危機管理に関する規定を追加
- ・図書館資料に電磁的記録を含むこと、郷土資料等の電子化等に関する規定を追加

などがあります。当館でもこれらを含め「望ましい基準」に少しでも近づけるよう、サービスを追求していきます。

2 「座間市立図書館サービス計画 2011」の基本方針

<ビジョン>

- ①家庭医のような図書館（プライマリー・ライブラリ）
- ②癒しの「場」としての図書館
- ③三つの機能（資料提供機能・保存機能・教育的機能）を持つ図書館

<ミッション>

- ①市民の情報拠点として、資料の保存に努めるとともに資料や情報の提供を積極的に行います
- ②学校や地域との連携を深め、市民との幅広い協働を行います
- ③未来を担う児童へのサービスと、豊かな経験を持つシニアへのサービスを重点的に行います
- ④役に立つ、暮らしに寄り添う、充実感のある、癒しの図書館を作ります
- ⑤座間市として特色ある図書館を目指します

<平成 31 年度（令和元年度）の目標>

- ・座間市立図書館サービス計画 2011 の改定に向け検討します
- ・ブックスタートの事業を安定的に行えるように努めます
- ・学校、学校司書との連携を深めます
- ・「調べる学習」や「POP コンクール」を軸に、児童やシニア向けのサービスを行います
- ・読書環境の整備に努め、次世代を担う児童へのサービスを積極的に進めます
- ・市役所の他の部署との連携を深めます

座間市立図書館
サービス計画2011



座間市立図書館
2011.3

第二次 座間市子ども読書活動推進計画

平成23年8月
座間市

3 図書館の組織

(1) 図書館の組織

ア 教育委員会 事務局機構（令和2年3月31日）

教育 委員会	教育部	
	教育総務課	庶務経理係 施設係
	学校教育課	学務係 保健給食担当
	教育指導課	指導係 教育研究所
	生涯学習課	生涯学習係 文化係 市史文化財担当 公民館 北地区文化センター 東地区文化センター
	図書館	庶務係 奉仕係

イ 図書館機構

館長（部 長兼務）	<p>庶務係【係長1・主査1・再任用職員1】</p> <p>(1) 図書館運営の企画及び調査に関する事。 (2) 図書館施設等の維持管理に関する事。 (3) 公印の管理に関する事 (4) 文書の收受、編集及び保存に関する事。 (5) 座間市立図書館協議会に関する事。 (6) 図書館の予算編成及び執行管理に関する事。 (7) 館内庶務その他館内の他の係に属さないこと。</p>
	<p>奉仕係【主幹兼係長1・主幹1・主査3・主事1・主事補1・再任用職員2・非常勤職員15】</p> <p>(1) 図書館資料の選択及び収集に関する事。 (2) 図書館資料の整備及び保管に関する事。 (3) 図書館資料の閲覧及び貸出に関する事。 (4) 参考資料の紹介及び提供に関する事。 (5) 講演会、読書会等の主催及び奨励に関する事。 (6) 移動図書館の運営及び団体貸出に関する事。 (7) 他の図書館等の連絡及び協力に関する事。 (8) 図書館資料の寄贈及び寄託に関する事。 (9) 図書館関係団体の育成に関する事。 (10) その他図書館奉仕活動に関する事。 (11) 視聴覚ライブラリーに関する事。</p>

ウ 図書館職員数

	①計	②うち女性	③うち司書	④うち女性	⑤司書以外	⑥うち女性
(1)正職員	10人	3人	3人	1人	7人	2人
(2)再任用職員	3人	1人	2人	1人	1人	0人
(3)非常勤職員	15人		1人			

(2) 図書館の施設

名 称	座間市立図書館	
所在地	座間市入谷東一丁目3番1号	
	T E L 046 (255) 1211	
	F A X 046 (252) 5704	
構 造	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	
開 館	昭和58年4月	
敷地面積	5,577.55 m ²	
建築面積	1,851.00 m ²	
延床面積	3,524.00 m ²	
地下1階	書庫、設備機械室	1,051.05 m ²
BM階	書庫、移動図書館書庫、電気機械室	207.30 m ²
1 階	成人開架室、児童開架室、参考図書室	1,687.26 m ²
	軽読書コーナー、書庫、事務室、印刷室	
	こどもおはなし室、対面朗読室	
2 階	講座室A・B、会議室、研修読書室	578.39 m ²
最大収納冊数	一般開架スペース	80,000 冊
	参考図書室	15,000 冊
	児童開架スペース	20,000 冊
	移動図書館用書庫	20,000 冊
	郷土資料開架スペース	8,000 冊
	保存書庫（第1書庫、第2書庫、第3書庫、貴重書庫）	350,000 冊
開館時間	火曜日から金曜日 午前9時から午後7時まで	
	土曜・日曜・祝日 午前9時から午後5時まで	
休館日	月曜日（祝日の場合は、火曜日）・館内整理日・特別整理期間 年末年始	



(3) 移動図書館車「ひまわり号」

ア 移動図書館設置の目的

市内全域に図書館サービスをはかるため、また図書館において直接図書等を利用することが困難な地域のために、移動図書館を設ける。

イ 就車日

昭和50年7月31日就車した移動図書館車を老朽化に伴い、平成31年3月22日、座間市立図書館移動図書館車として更新しました。

ウ 名称

「ひまわり号」 (市の花から命名)

エ 車の規格

車種	いすゞエルフ改造車
総排気量	2,990 cc
積載冊数	約1,200冊
登録年月日	平成31年3月22日
定員	3名

オ 巡回周期

駐車場 月2回



カ 移動図書館ポイント一覧

※移動図書館車で巡回

番号	名称	巡回開始年月	住所
1	東原共同住宅	昭和50年 3月	座間市ひばりが丘5-58-8
2	東原小学校	昭和50年12月	座間市東原2-6-1
3	相模野小学校	昭和60年 2月	座間市広野台1-41-1
4	栗原小学校	昭和62年 4月	座間市栗原中央6-8-1
5	ひばりが丘南児童館	昭和63年 2月	座間市ひばりが丘3-56-1
6	入谷小学校	昭和63年 4月	座間市入谷2-345
7	中原小学校	昭和63年 4月	座間市西栗原2-16-1
8	カーサ相模台	平成 9年 4月	座間市相模が丘4-43
9	座間小学校	平成31年 4月	座間市座間2-3133
10	生きがいセンター	平成31年 4月	座間市小松原1-45-21
11	相武台東小学校	平成31年 4月	座間市栗原 1 3 0 2
12	ひばりが丘小学校	平成31年 4月	座間市ひばりが丘 4 - 4 - 1
13	相模が丘小学校	平成31年 4月	座間市相模が丘 3 - 1 - 1
14	立野台小学校	平成31年 4月	座間市立野台 1 - 1 - 3
15	旭小学校	平成31年 4月	座間市ひばりが丘 5 - 4 3 - 1

キ 出張図書館

※出張図書館として相武台東小学校内に「ウーフの部屋」を設置しています。

番号	名 称	設立年月	貸出場所
1	ウーフの部屋	昭和 63 年 10 月	相武台東小学校教室 座間市栗原 1302



※相武台東小学校「ウーフの部屋」の内部

(4) 公民館図書室等の概要

ア 公民館図書室 (週 3 回搬送便で巡回)

名 称	北地区文化センター	東地区文化センター	座間市公民館
所 在 地	座間市相模が丘 5 丁目 30 番 4 号	座間市東原 3 丁目 1 番 1 号	座間市入谷 1 丁目 3097 番地
開 設 日	昭和 52 年 4 月 1 日	昭和 56 年 4 月 1 日	平成 8 年 11 月 21 日
建物・面積	鉄筋コンクリート 2階建 1, 144㎡	鉄筋コンクリート 2階建 1, 446㎡	鉄骨ラーメン 3階建 1, 654㎡
図 書 室 面 積	96㎡	165㎡	100㎡
閱 覧 席	30 席	47 席	2 席
貸 出 日 時	火 ~ 日曜日 午前 9 時 ~ 午後 4 時 50 分	火 ~ 日曜日 午前 9 時 ~ 午後 4 時 50 分	火 ~ 日曜日 午前 9 時 ~ 午後 4 時 50 分
休 館 日	月曜・祝日 年末年始	月曜・祝日 年末年始	月曜・祝日 年末年始
蔵書数	16, 707 冊	19, 513 冊	15, 793 冊

イ 配本所 (月 1 回入れ替え)

番号	名 称	設立年月	配 本 所
		代表者	
1	ひばりが丘小松原児童館ファミリー文庫	昭和48年11月	ひばりが丘コミュニティセンター内 座間市ひばりが丘 1-49-1
		久保 智恵子	

(5) 図書館協議会

第18期

任期(平成30年5月1日～令和2年4月30日)

委員

職名	氏名	選出区分
会長	升水由希	学識経験者
副会長	山田由香	社会教育委員会
委員	織原徳雄	市視聴覚教育研究協議会
委員	鍛代哲也	市小中学校校長会
委員	村田紅子	座間おはなし会
委員	松岡たみ子	公民館運営審議会
委員	土屋良夫	公募による

※図書館法第15条の規定に基づく

開催年月日	主な会議内容
7月31日	事業経過報告 平成31年度の主要事業計画及び予算について 図書館協議会開催計画案について
11月13日	事業経過報告 平成30年度決算について 令和2年度の休館日の一部変更及び特別整理期間について
3月11日	事業経過報告 令和2年度当初予算(案)について 来年度の休館日について



(6) 予算

ア 図書館関係歳出当初予算の推移 (単位 千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比較増減
一般会計	41,414,501 千円	41,268,762 千円	40,726,040 千円	40,412,798 千円	△313,242 千円
教育費	3,988,529 千円	3,417,687 千円	3,444,904 千円	3,576,275 千円	131,371 千円
社会教育費	917,098 千円	867,134 千円	948,482 千円	961,366 千円	12,884 千円
図書館費	88,612 千円	88,682 千円	99,220 千円	89,939 千円	△9,281 千円
報酬 (図書館協議会)	168 千円	168 千円	202 千円	202 千円	0 千円
貸金	17,331 千円	16,906 千円	17,667 千円	17,568 千円	△99 千円
報償費 (運営事業関係)	450 千円	450 千円	450 千円	450 千円	0 千円
旅費	34 千円	31 千円	32 千円	28 千円	△4 千円
需要費	41,245 千円	41,125 千円	41,151 千円	42,094 千円	943 千円
消耗品費の内	20,060 千円	20,553 千円	20,582 千円	20,529 千円	△53 千円
図書資料費	16,000 千円	16,972 千円	17,000 千円	16,997 千円	△3 千円
定期刊行物等	4,060 千円	3,581 千円	3,582 千円	3,532 千円	△50 千円
その他 (他の消耗品、光熱水費、修繕料等)	21,185 千円	20,572 千円	20,569 千円	21,565 千円	996 千円
役務費	3,024 千円	3,324 千円	3,453 千円	3,382 千円	△71 千円
委託料	13,372 千円	14,799 千円	14,502 千円	14,597 千円	95 千円
使用料及び賃借料	11,134 千円	11,202 千円	11,004 千円	10,555 千円	△449 千円
工事請負費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
原材料費	5 千円	5 千円	5 千円	5 千円	0 千円
備品購入費	472 円	566 千円	10,572 千円	944 千円	△9,628 千円
負担金補助及び交付金	113 千円	106 千円	106 千円	114 千円	8 千円
公課費	63 千円	0 千円	76 千円	0 千円	△76 千円
視聴覚教育費計	1,201 千円	1,101 千円	1,198 千円	1,167 千円	△31 千円
内訳					
視聴覚資料費 (ビデオ・DVD)	1,016 千円	1,099 千円	1,015 千円	1,165 千円	150 千円
その他	185 千円	2 千円	183 千円	2 千円	△181 千円

※△は減

4 市民との協働

(1) 座間市視聴覚教育研究協議会

昭和 42 年に設立され、隔月 1 回映画の上映会 (「子どもシアター」) 等を実施しています。

(2) 座間図書館ボランティア友の会

平成 10 年 6 月に図書館と相互協力し、利用者とのより良いコミュニケーションをつくることを目的に設立され、館内整理等の書架整理の協力、リサイクルなどの活動をしています。

ア ワンスモアブックスフェア（令和元年度実績）

開催日	9月7日、8日	3月7日、8日
販売冊数	3,996冊	コロナ対応で中止

イ 座間図書館ボランティア友の会からの寄贈本実績

年 度	書 籍 名
平成 26 年度	『新 世界絶滅危機動物図鑑』全6巻 『日本のすごい島調べ事典』全3巻 『かこさとしの自然のしくみ地球のちからえほん』全 10 巻 『ちびまる子ちゃんの春夏秋冬教室』(コンクール副賞として 8 冊)
平成 27 年度	『農家になろう』第1期全 5 巻 『こども栄養素えほん』全 3 巻 『知っておきたい障がいのある人の SOS』全 6 巻 『よくわかる！記号の図鑑』全 5 巻『よのなかふしぎこどもずかん』(コンクール副賞として 4 冊) 『大切にしたいこっぽんの暮らし』(コンクール副賞として 4 冊)
平成 28 年度	『ヒーロー&ヒロインと出会う名作読書きかけ大図鑑』全 3 巻 『ヒーロー&ヒロインに会おう！古典を楽しむ書きかけ大図鑑』全 3 巻 『ヒーロー&ヒロインに会える 文学入門書きかけ大図鑑』全 3 巻 『世界の人びとに聞いた 100 通りの平和』全4巻『はじめてのアクティブ・ラーニング社会の？を探検』全 3 巻 『方言キャラ絵本 東日本・西日本』全 2 巻
平成 29 年度 (友の会創立 20 周年記念)	『もっと知りたい！お年よりのこと』全 5 巻 『池上彰と考える戦争の現代史』全 4 巻 『気をつけろ！猛毒生物大図鑑』全 3 巻 『ごみゼロ大作戦！めざせ！Rの達人』全 6 巻 『おばあちゃん、おじいちゃんを知る本』全 4 巻 『チームでつかんだ栄光のメダル』全 5 巻 『ストップ！ゲーム依存』全 3 巻 他『四代公害病』『いのちをいただく』『焼き肉を食べる前に』の 3 冊
平成 30 年度	『みんなでつくる 1 本の辞書 たくさんのふしぎ傑作集』 『好きなものから見つけるお仕事』(全 4 巻) 『ホネホネ動物ふしぎ大図鑑』 『日本の戦争と動物たち』(全 3 巻) 『外来生物はなぜこわい？』(全 3 巻) 『マンガで探検！アニメーションのひみつ』(全 3 巻) 『子供の科学★ミライサイエンス』(全 4 巻)
令和元年度	『どうしてトウモロコシにひげがあるの？』 『知るって、なに？子ども哲学』 『暮らしを変えた日本の技術』 『なぜなにはかせの理科クイズ』 『ごみはどこへ ごみのしよりと利用』 『池上彰さんと学ぶ 1 2 歳からの政治』

(3) としょかん情報発信局

平成 19 年 5 月に発足した会で、図書館と協働し個人や団体の持つ情報を収集し発信するハブ（中継基地）の役割を担うもので、現在では「調べる学習」の講座や壁面構成などを中心に活動しています。「調べる学習」の企画・準備を協働で行うほか、サポーターとして参加者の支援もし、壁面構成においては自作の壁新聞を作成する等、幅広い活動を行なっています。

⇒「としょかん情報発信局」の活動は「Ⅱ 図書館事業 6」を参照

(4) おはなしボランティア

図書館の定例のおはなし会、おはなしの講習会、ひまわりおはなし会、おひさまおはなし会、こわいおはなし会などの図書館の児童行事だけでなく、蔵書点検や図書館見学などでも大活躍のおはなしボランティアのみなさんです。

また、各小学校の読み聞かせボランティアとの情報交換やおはなしの講習会を行い、また図書館見学の案内としても参加していただいています。

5 学校との協働

(1) コンピュータによるネットワークシステム

平成 18 年から市立の小中学校のコンピュータ化が始まり、平成 22 年度には全小中学校が完了しました。図書館では、各学校の蔵書を一度に見ることができるよう、図書館のデータベースに学校の蔵書を登録し、Web-OPACを通して、図書館だけでなく学校や教育委員会などからも閲覧できるようなしくみを構築しました。

(2) 学校司書の研修

平成 23 年度から派遣により学校司書が市内小学校全校に、平成 24 年度からは全中学校にも配置されるようになりました。これにともない、6 月の新規採用時の研修、7 月の 1 学期末の研修、平成 27 年度からは公的研修が年 3 回となり、その他自主的な研修も図書館で行うこととなりました。さらに、平成 29 年度から雇用が派遣から座間市雇用の非常勤職員になり、勤務日数も年間 100 日から 160 日に増加しました。

(3) 情報共有ツールの開発

平成 25 年 2 月、小中学校の学校司書や教育委員会の担当者との連絡のため、「座間市学校図書館情報共有ツール」を導入しました。これにより、各種連絡や統計の報告、「図書室だより」の配布などが容易に行えるようになりました。

ログイン画面です。



6 市役所他部署との協働

平成 31 年度(令和元年度)も、座間市広報広聴人権課 人権・男女共同参画係との協働企画を行いました。具体的には、人権週間や、人権啓発などと連動した特集コーナーの設置、関連グッズの配布などです。

